



本日のプログラム 映画 "交通事故"

- ※ 司 会 遠 藤 会 長
- ※ 齊 唱 "奉仕の理想"
- ※ ビジター 佐 藤 昌 君 (森R.C.海産商)
五十嵐長寿君他9名(函館) 釣谷尚君他7名(函館東)

※ 幹 事 報 告

1. 当クラブで援助した市教委主催の「巣立つ青少年の教養講座」の「受講生感想文集」が来ておりますので回覧します。
2. 暖かいガバナーより地区協議会の出席要請状が来ました。
3. 明日のアツエンブリーには是非多数の出席をお願いします。
4. 湯沢南仮R.C. 5月14日に設立。

※ 飯 田 国 際 奉 仕 委 員 長

350地区ガバナーエレクト岡田正雄氏より、ニューヨーク州レーク・ブラシット・クラブで開催中のロータリー国際協議会場から挨拶状が参りました。

リチャード・エル・エバンス次期会長の今年度目標十項目が書かれています。

- 1) 新会員の加入
- 2) 新クラブの結成
- 3) 親睦を楽しもう
- 4) 社会の必要とするものを発見してそれに奉仕しよう
- 5) 君の職業上の関係者をより良くしよう
- 6) 青少年奉仕
- 7) 効果的な広報活動
- 8) ロータリーの国際性を強調
- 9) 国際社会奉仕
- 10) ロータリーの奨学資金への援助

※ 卓 話 "北クラブの創立記念日に因んで"

函館東R.C. (元特別代表) 富田恭氏

昭和39年6月16日に仮クラブを結成し、10月19日に承認され、明日創立3周年記念日を迎えることになりました。初代会長の新さんは、与えられた地域はニューフロンティアである、バイオニアスピリットで地域を開発したいとの抱負を述べられました。又最初は出席率が悪く、寿原ガバナーから再三御注意がありましたが、当時遠藤副会長は、3年間止むを得ない、長い目で見てほしいと答えておりました。然し最近では96%出席の声がきかれるように

農家が50%以上あり、全国平均の20%を遙かに上回る。

4. 農業形態 山脈を境に、又どの海に面するかで次の5地区に区分する。
 - イ オホーツク海斜面 冬、春は流氷が来て甚だ寒く、夏は涼しい。麦類、豆、ビート、馬鈴薯 飼料作物の栽培が多い。
 - ロ 日本海斜面 本道稲作の70%を占め、又雑穀、ビート、馬鈴薯の作付も多く、北部には畜産が発達している。
 - ハ 太平洋斜面東部 沿岸平原は秋、冬は寒く、春、夏は海霧で日照不足となり牧畜を主とする。帯広は内陸性気候で豆、ビート、馬鈴薯に適する。
 - ニ 太平洋斜面西部 対馬暖流の影響で暖かく、牧草栽培が多い。
 - ホ 渡島半島 暖流の影響で暖かく、水稻、果樹、野菜に適する。
5. 農業生産の状況 米は全国一である。畑作では菜豆類、馬鈴薯、大豆、ビートが本道の特産物である。飼料作物面積も増加した。又家畜では豊富な草資源を活用して乳牛が増加し、馬は機械化の影響で漸減している。
6. 肥料の消費動向 本道の耕地面積は全国の15%であるが、肥料消費量は10%で単位面積消費量は少ない。又単肥(42万2千吨)が減少し、複合肥料(23万4千吨)中の高度化成が伸びている。流通経路としては、メーカー→全購連→県連(北連)→農協→農家の「系統」と、メーカー→ディーラー→特約店→二次特約店→農家の「商系」がある。
7. 要約すると 自然条件にあまり恵まれない本道で、イ)水稻が日本一の生産量をあげている ロ)火山灰地帯、傾斜地の開発が期待出来る ハ)耕地面積が開発庁才2期計画により45年度には130万haに増加する ニ)農家戸数の減少は機械化により合理化されている ホ)農業形態の改良、特に畜産機械等當農装備の充実 ヘ)畜産重点のための草地造成の促進 ト)肥料の高成分の化成を使用することによる省力栽培 チ)農薬による単位収量増加及び除草等の省力化、等いろいろ将来に明るい面がある。

何れにせよ、道庁、北海道開発庁、各支庁、国立試験場、道立試験場、各関係大学、農業高校を始め、系統、商系の流通機構、並びに一般道民の御理解のもとに、農産物の生産拡大と経営規模拡大をはかることが望ましい。

※ 出 席 報 告

1. 本日 会員数31名 出席24名
2. 前回の確定出席率 96.72% (当日出席23名、他ク出席7名)
3. 5月の平均出席率 89.52%

参考	函館クラブ	前回94.44%	月間95.39%
	函館東クラブ	前回94.59%	月間92.84%



なり、先般のフォーラムで立派にその任を果されたことは、会員数こそ増えな
いが内容が充実し、皆さんがロータリー精神に徹して努力された結果です。

フォーラムで東クラブの飯田会員が、少人数の北クラブのために函館3クラ
ブを再編成してはとの提案があり、ガバナーも同意されましたが、私はこの北
クラブは、新しい地域で、新しい特色ある気風を持つことが望ましいと考え、
その意味でキーメンを6~7名に止めたのでした。

今のロータリークラブは老成マンネリ化し、活気が無いように感じます。過
日大沼さんが「ロータリーはこれでよいのか」と述べられました。誠に時宜
を得た発言でした。6月号の「ロータリーの友」に、福岡西クラブが「彼らの
身になつて」と題して国際問題の討議をした報告があり、世界理解週間の行事
についても我々の創意工夫が足りないと思ひました。又街の美化運動を例にと
つても積極性に欠けることが反省させられます。更に親睦を深めるためのフア
イアサイド・ミーティングも大いにやるべきだと思います。兎も角我々ロータ
リアンは「奉仕の理想」を身をもつて示すことが最大の使命です。

3周年を記念して、当クラブの発展をお祝い申し上げると共に、日頃ロータ
リーについて感じていることを申し述べた次第です。

◆ 会員感想

新前会長 創立当時は確かに苦勞しましたが、2年目の遠藤会長により段々
理想に近づいて来たと思ひます。今後クラブは発展すると信じておりますが、
市そのものの発展膨張が捗々しくないので焦慮される面もあります。

テレートリー再編成問題は、嵯峨ガバナーが次期ガバナーに引き継がれたそ
うで、R.I.からどのようなお土産を持ち帰られるかが楽しみです。一度3クラ
ブが合併し、大会場で会合をやり、1、2カ月後に計画に従つて再配分する
など面白いアイデアだと思います。

飯田貞一君(東クラブ) 函館クラブは人数が多くて統制上困るであろうし、
社会奉仕の面でも財政が豊かです。北クラブは少人数で、委員会でも掛け持ち
で無理が重なつています。この辺で函館クラブに協力していただいて、大乗的
見地から再編成していただいたらよいと思ひます。

遠藤会長 富田先生、飯田さんの御意見は夫々御もつともです。その問題は
さておき、私達30名の会員を擁する小クラブは確かに運営は苦しい。滝本前
ガバナーがロータリークラブは60名が適当であると申されました。今後新ク
ラブが設立される場合、50~60名になるよう、親クラブはキーメンの人数
を考慮すべきではないかと思つています。

◆ 出席報告 前回の確定出席率 93.55%
参考 函館クラブ 90.75% 東クラブ 87.67%

日時 昭和41年6月16日 17.30~19.00

会場 松風町「入川」 出席者 23名

◆ 戸栗幹事

本日は旧年度役員に感想と引き継ぎを、新年度役員に抱負を語つていただき
ます。その後懇親会に移ります。(懇親会は19時より21時まで、盛況裏に
行なわれました。日本座敷は好評でした。)

◆ 遠藤会長

過去1年間シャツボ程度のことしか出来ず申し訳ありません。30名で発足
した会員中10名が退会しましたが、11名の有力な方々を補充出来てクラブ
としての体裁が整い、親睦の実が着々あがつていると思つています。先日クラ
ブの再編成案が出ましたが、我々のメンバーで必ずしも四苦八苦の状態ではな
く、皆さん愉快地参加して下さつているようです。今度飯田新名会長を迎える
ことになり、クラブの発展は明らかで、私も大いに楽しみです。

◆ 塚田副会長(クラブ奉仕委員長)

私自身非力で不勉強なため、新会員の増強が果せなかつたのが心残りです。
然し人数は少なくとも、良い意味での小クラブの楽しい雰囲気をつくりたいと
の念願は達成出来たと思つております。

◆ 木屋出席委員長

皆さんの御協力により出席率が非常に良くなつて、次期委員長さんにバトン
タッチ出来るのは嬉しい。何回も100回出席をやつていただきたい。

◆ 俣野プログラム委員長(次期国際奉仕委員長)

西村さんのお力添えて、四苦八苦しながらどうかやつて来ました。新年度
は国際奉仕ですが、外国語のほうは外山さんよろしくお願いします。

◆ 西村広報委員長

昨年は欠席が多くて広報活動が意のままにならず申し訳ありません。

◆ 水上クラブ会報委員長

引き続き会報に残りますので今後も裏方として努力します。

◆ 今宮社会奉仕委員長(次期ロータリー情報委員長)

財政面で積極的に出来ませんでした。3クラブ合同で大体実績が出来まし
た。次期の方々の積み重ねをお願いします。情報はこれから勉強します。



通算才 117号

1965~1966-6-22

函館北ロータリークラブ

第103回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

本日のプログラム

新旧会長の挨拶

※ 飯田国際奉仕委員長

昨日の富田先生のお話もあり、懸案であつたマツチドクラブえの手紙を英訳して昨夜送りました。又財団交換学生計画は当クラブはまだ無理でしょう。

※ 深瀬ロータリー情報委員長(次期プログラム委員長)

個人的にはやりましたが組織的な情報活動をやらず申し訳ありません。プログラムは皆様のお好みに合つてお膳立をしたいので、御意見をお寄せ下さい。

※ 戸栗幹事

お役に立たず手違いばかりで申し訳ありませんでした。本来皆さんにやつていただくべき仕事を、連絡がとれないため私がやつてしまうことが多く、肝心の幹事業務が疎かになりがちでした。次期幹事さんは御留意下さい。

※ 飯田次期会長

不勉強なのでこれから「会長必携」を読んで勉強します。月末に出張しなければなりません、副会長さんが二人なので心強い。遠藤名会長さんのあとをうけ一生懸命やりたいと思いますのでよろしく。

※ 神原次期副会長(次期クラブ奉仕委員長)

大役を仰せつかつたがどうしてよいか見当がつかず、皆さんに不満足を与えるであろうと心配です。色々お教えいただきたいと思つています。

※ 野村次期会員選考委員長

先ず皆さんから選考する人をどんどんあげていただきたい。

※ 木屋次期広報委員長

大いに広報をやるために各委員会よりの積極的な連絡を望みます。

※ 山内職業分類委員長

職業分類別会員表、未充填職業分類一覧表等をつくつたのが仕事でした。

※ 遠藤次期社会奉仕委員長

社会奉仕は部門が広く、大クラブでは青少年担当の係等仕事を分担しています。とりあえず前委員長さんの線にそつて努力するつもりです。

※ 市川次事幹事

前幹事さんのようにうまくやれる自信がありません。無能粗忽ぶりを発揮すると思ひますが、お笑い下さる前に先ずお教え下さい。

※ 杉本次期SAA

現在のSAAは食事の件でも苦労しています。SAAにはもつと大切な役がある筈なので、ここで例会場変更を動機として提出したい。

※ 自由討議

ロイヤルホテル案、駅前拓銀ビル案、又現会場を可とする案等種々討議されましたが、新年度の課題として新役員にお願いすることになりました。

- ※ 司会 遠藤会長
- ※ 斉唱 奉仕の理想
- ※ ビジター 阿部恵三男君(森 食料調達) 谷義一君(森 電気工事)
- 和賀 弘君(森 旅館)
- 徳田和太郎君他7名(函館) 斎藤誠太郎君他5名(函館東)

※ 映画 交通事故 —— 悲しみの記録 ——

この映画は警視庁交通部監修、日本シネセン株式会社の製作によるもので、最近2カ月間の東京都内交通事故の生々しい悲しみの記録である。

年々凄まじく増加する自動車には、道路をいくらつくつても追い付かない。道路交通法が厳として存在するが、人々が守らなければ何もならず、年間1万人以上(15才以下は約2千人)の人命が交通事故で失われている。一方ではドライバーが2千万人を突破し、日増しにふえてゆく。

免許証とは単に車を運転するためのものであつて、事故をおこさぬ保証ではない。ドライバーは少し馴れると免許取りたての頃の初心を忘れる。そして自分だけは事故をおこさぬと過信する。然し相手がある。相手の不注意でも事故になる。又夜ともなれば酒を飲む機会が多くなる。酔つぱらけによる事故も多い。又スピードの出し過ぎは緊張をうみ、緊張は疲労をもたらし、感覚を鈍らせ、屢々大事故の原因となる。更に踏切での不注意、無理な追い越し等、危険は限りなくある。

画面には交通事故が生々しく写し出される。無残に潰れた車、血だらけの怪我人、そして死んでしまつた人。誰かが叫ぶ。「あ、首が無い!」

死亡者の33%は道路横断中であると言ひ。車が時速40キロで走つたとすると、1秒間に11.1メートル進むことになる。歩行者が1秒間に1メートル歩くとすれば、横断歩道を渡るのに何秒かかるだろうか。危い危い。子供や年寄りには特に注意しなければいけない。雨降りの夜も危険だ。

歩行者に例え過失があつたとしても、ドライバーは責任を負わなければならぬ。ドライバーはハンドルを握つた時から、事故をおこせば刑事上の責任、免